

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社 相模テクノ	代表者	堀沢 暁子	法人・ 事業所 の特徴	・高齢者の方々に対し感謝し、尊敬と敬意を持って介護させて頂く事を理念とし、利用者寄り添い利用者本位の支援をしている。法人は小規模ながら、居宅介護支援、訪問介護・看護から通所介護、GH、小規模多機能、サ高住等多機能なサービスがあり、利用者の状態・ニーズに対応したサービスを提供でき最後（看取り）まで対応している
事業所名	グループホーム あかつき	管理者	神田美貴子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	4人	0人	2人	1人	0人	4人	人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・勤務期間が少ない職員にも評価できるよう、評価の際に各自内容を熟知し、意見交換をしっかりと行う。	・スタッフ全員で事業所評価に取り組んだ。 ・全員でしっかり取り組んでいる様子は伺えたが、コロナ禍で書面会議での評価なので具体的な意見を伺えなかった。	・コロナ禍で書面会議での評価なので意見を伺えなかったが、ほぼ具体的になっているという意見であった。	・成年後見制度や地域ケア会議への理解を深め、地域の方々から必要とされる事業所作りに貢献したい。コロナ禍で地域との交流を図る事がむずかしいので、この間にリモート研修等で介護や地域への理解を深めスキルアップに努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	・新型コロナの問題が解決したら、改めてサニーヒルに地域交流の場を構築する。 ・コロナ禍の前までは月に1回オレンジカフェを開催していたが、あかつき利用者の参加がほとんどだった。地域の方々に参加しやすいオレンジカフェを開催する。	・コロナ禍で書面会議での評価なので具体的な意見を伺えなかった。 ・5つのチェック項目への回答から、事業所のしつらえ・環境については良いと評価されている。	・コロナ禍で今年度は事業所に入れなかったが、ほとんどの評価者が以前に内部を知っている方々だったので、ほとんどの方がしつらえ・環境は「はい」と回答していた。 ・コロナ禍でオレンジカフェは中止、来客も入室禁止とした。 ・家族等の面会はガラス越しで5分以内とさせて頂いた。（苦しい選択をしている）	・新型コロナの問題が解決したら、改めてサニーヒルに地域交流の場を構築する。 ・コロナ禍の前までは月に1回オレンジカフェを開催していたが、あかつき利用者の参加がほとんどだった。地域の方々に参加しやすいオレンジカフェを開催する。
C. 事業所と地域のかかわり	・コロナ問題解決後は認知症の専門施設としての経験を活かし、認知症の相談等を気軽にできる地域の相談窓口として活動する。	・コロナ禍で地域交流がほとんどできなかった。コロナ問題が解決したら、サニーヒルの有効活用を深めたい。	・コロナ禍で書面会議での評価なので意見を伺えなかった。 ・書面での評価だったが、職員の挨拶等ではできているという意見が多かったが、相談しやすい場所については、わからないという意見もあった。	・コロナ問題解決後は認知症の専門施設としての経験を活かし、認知症の相談等を気軽にできる地域の相談窓口として活動する。 ・コロナ解決後は駄菓子カフェを活かし、地域の子供達にも地域の駄菓子屋さんとして利用者と子供達との交流を深めてゆきたい。

<p>D. 地域に向 いて本人の暮ら しを支える取組 み</p>	<p>コロナ禍で改善計画を実行できな かったので、前回の改善計画を引き 継ぐ。 ・民生委員の方々と連携を密にし て、地域の困り毎等の相談に対応し てゆく。 ・通所利用の方の地域の自治会やイ ベント等が分からないので、家族を 通じ利用者の方が地域のイベント に参加できるよう支援してゆく。</p>	<p>・コロナ禍で改善計画にはほとん ど取り組めなかった。</p>	<p>・コロナ禍なので、地域の方を交え た会議を行えなかった。又、地域の 行事やイベントも中止になること も多く、参加できなかった。</p>	<p>コロナ禍で改善計画を実行できな かったので、次のとおり前回の改善 計画を引き継ぐ。 ・民生委員の方々と連携を密にし て、地域の困り毎等の相談に対応し てゆく。 ・通所利用の方の地域の自治会やイ ベント等が分からないので、家族を 通じ利用者の方が地域のイベント に参加できるよう支援してゆく。</p>
<p>E. 運営推進会 議を活かした取 組み</p>	<p>・運営推進会議を生かした地域への 貢献について、職員全員が取り組め るような体制を作る。</p>	<p>・コロナ禍で地域貢献の取組み ができていなかった。</p>	<p>・コロナ禍で書面会議での評価なの で意見を伺えなかった。 ・書面会議での議事録だけでも、事 業所の取組みはある程度説明で きていたと思った。</p>	<p>・前回の改善計画が実行できなかつ たので、次の通り改善計画を引き継 ぐ。 ・運営推進会議を生かした地域への 貢献について、職員全員が取り組め るような体制を作る。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害 対策</p>	<p>・地域の方々にも参加して避難訓練 や防災訓練を実施する。</p>	<p>・コロナ禍で防災訓練等に地域の 方々の参加ができなかった。</p>	<p>・コロナ禍で書面会議での評価なの で意見を伺えなかった。 ・コロナ後は地域の防災訓練に参加 すると同時に、以前実行していた地 域との合同防災訓練を引き続き実 行してゆきたい。 ・災害時の備え（非常電源、食料等） あり、地域に頼れる存在になってい る。</p>	<p>・コロナ禍が終息したら、前回の改 善計画を引き継ぐ 地域の方々も参加して頂き避難訓 練や防災訓練を実施する。 ・災害時のBCPを構築し、利用者 の安全・安心を確保する。</p>